

# 第4期宮城県がん対策推進計画ロジックモデル（案）

資料8

## C 初期アウトカム

## B 中間アウトカム

## A 分野アウトカム

### 【予防】

1	危険因子となる生活習慣が改善している (みやぎ21健康プランとの連動)	①喫煙率 ②受動喫煙の機会を有する者の割合 ③喫煙の健康影響に関する知識の普及 ④多量飲酒者の割合 ⑤運動習慣のある者の割合 ⑥野菜と果物の摂取量 ⑦食塩摂取量 ⑧適正体重を維持している者の割合
2	がんの原因となる感染症が制御できている	①HPVワクチン実施率(接種者数) ②B型・C型肝炎ウイルス陽性者数
3	科学的根拠に基づく受診勧奨を行い、検診受診率が增加する	①検診受診率 ②指針を遵守している市町村数
4	精度の高いがん検診が実施されている	①精密検査受診率 ②がん発見率 ③偽陽性割合 ④個別勧奨を実施している市町村数

1	がん罹患率が減少する	①がん種別罹患率
---	------------	----------

2	早期がんでの発見割合の増え、進行がんの罹患が減る	①早期がんの割合 ②進行がん罹患率
---	--------------------------	----------------------

この案はたたき台です。今後、詳細はワーキンググループで検討いただく予定です。

1	がんの死亡率が減少する	①がん年齢調整死亡率(75歳未満) ②がん種別年齢調整死亡率
---	-------------	-----------------------------------

### 【医療】

5	県内でどこに住んでいてもゲム医療を受けられる体制になっている	①C-GAT登録数 ②遺伝腫瘍カウンセリング加算
6	標準的な治療(手術療法・放射線療法・薬物療法)が、質が高く安全に実施されている	①悪性腫瘍特異物質治療管理料の算定件数 ②外来化学療法の実施件数 ③悪性腫瘍の手術実施件数 ④術中迅速病理組織標本の作製件数 ⑤病理標本作製件数 ⑥放射線治療の実施件数 ⑦がん専門看護師の数 ⑧専門認定薬剤師数
7	チーム医療体制が整備され、医療従事者間の連携が強化されている	①患者支援の充実や多職種間の連携強化を目的とした院内全体の多職種によるカンファレンス回数
8	がんのリハビリテーションを受けられる体制になっている	①がんのリハビリテーションの実施件数 ②がんリハビリテーション科届出医療機関数
9	副作用や合併症、後遺症による症状を軽減するための支持療法を受けられる体制になっている	①リンパ浮腫外来の設置拠点病院等数 ②ストーマ外来の設置拠点病院等の数 ③拠点病院におけるアピアランスの相談件数
10	診断時からの適切な緩和ケアが受けられる	①緩和ケア外来の年間受診患者数 ②緩和ケアチームによる介入患者数 ③身体的な苦痛を抱える患者の割合 ④精神的な苦痛を抱える患者の割合
11	生殖機能温存療法及びがん治療後の生殖補助医療が充分に行われている	①生殖機能温存治療費助成の件数 ②温存後生殖補助医療費助成の件数
12	小児がん・AYAがんの患者・家族の苦痛の軽減と療養の質が向上できている	①小児がん患者の生存率 ②AYAがん患者の生存率 ③小児がん拠点病院の相談件数 ④拠点病院におけるAYA世代の相談件数
13	患者・家族の苦痛の軽減と療養の質が向上できている	①高齢者のがん患者の生存率 ②拠点病院における高齢者の相談件数

3	がん患者が納得した適切かつ質の高いがん医療を等しく受けられている	①がん生存率 ②がん生存率の医療圏の差 ③がんの診断・治療全体の総合的評価
---	----------------------------------	---

2	がんになっても日常生活の場で尊厳をもって安心して暮らすことができる。	①現在自分らしい日常生活を送れていると感じるがん患者の割合 ②健康寿命
---	------------------------------------	--

### 【共生】

14	がんの相談支援を受けることができ、自分にあった正しい情報が得られる	①拠点病院のがん相談の相談件数 ②拠点病院以外のがん相談の件数 ③拠点病院におけるセカンドオピニオンの件数 ④患者会・サロンの開催回数 ⑤ピアサポーター養成研修受講者数 ⑥ピアサポーターが活動する拠点病院数 ⑦がんと診断されたから病気や療養生活について相談できたと感じるがん患者の割合
15	療養場所にかかわらずがん医療や緩和ケア等の支援を受けることができる	①在宅末期医療総合診療科届け出施設数 ②在宅がん医療総合診療科の算定件数 ③専門医療機関連携薬局の認定数
16	がんを診断を受けた後の社会的課題による苦痛を受けることのない社会を目指す	①拠点病院のアピアランスケアの相談件数 ②アピアランス支援研修修了者数 ③拠点病院の就労支援の相談件数 ④長期療養者就職支援事業を活用した就職者数 ⑤自立支援コーディネーター研修修了者数
17	ライフステージごとに抱える問題への適切な支援を受けることができる	①小児がん拠点病院の相談件数 ②小児サポートセンターの相談件数 ③拠点病院における高齢者の相談件数

4	身体的・精神的な苦痛が軽減され、療養生活を送ることができる	①身体的・精神的な苦痛により日常生活に支障を来しているがん患者の割合 ②がん患者の在宅死亡割合
---	-------------------------------	--